

ネットワークセンター事業報告:

ふるさとふくしま交流・相談支援事業事務局

8月1日より2次採択団体による事業が開始されました。今年度は青森から沖縄まで、1次採択とあわせて全国105の避難者・帰還者支援団体により事業が実施されています。各団体の活動概要や交流会の実施予定は、本事業ウェブサイト (<http://www.ff-shien.jp/>) で、ご覧いただくことができます。

事務局では、7月に全国5か所の会場で、採択団体を対象とした、補助金の趣旨や事務手続きに関する説明会を実施しました。福島県内でも他の補助金等での不正受給の例などがみられることから、説明会ではあらためて補助金の適正執行や正確な会計報告について確認されました。

8月からは、事務局職員が各採択団体の事務所を訪問し、事業の実施状況や、会計の整理状況の実地調査を実施しています。11月下旬には各団体から提出される前期会計報告書類の精査がはじまります。

採択団体のお話をうかがう中では、避難者・帰還者支援団体の活動上の課題として、活動の財源となる補助金・助成金の減少、臨床心理士や弁護士等の専門的な人的資源の確保、支援が届いていない

避難者へのアクセスがないこと等が挙げられています。

震災から時間が経過し、避難者を取り巻く環境は一人ひとり大きく異なってきています。直接的に震災に起因する要因だけではなく、地域の社会課題や家族の状況など、さまざまな要因が絡み合い、避難者もつ問題や課題は個別化・複雑化しています。

避難者支援団体は、地域で活動するNPOや避難当事者の団体など、活動の形態はさまざまですが、これから被災者支援に関する補助金がさらに縮小していくことが予想されるなかで活動を継続していくためには、活動財源の確保やスタッフのスキルアップなど、戦略的な活動が求められます。また避難者もつ問題・課題の解決には、支援団体が単独で活動するだけではなく、それぞれの支援団体同士や、さまざまな社会資源との連携が必要です。ふくしまNPOネットワークセンターは、団体の組織基盤強化支援や、さまざまな主体同士のネットワークの拠点となる福島の中間支援組織として、大きな使命を担っていると感じています。

(ふるさとふくしま交流・相談支援事業事務局
所長 山崎 友也)

—福島県より受託、運営している施設—

●ふくしま地域活動団体サポートセンター

〒960-8043 福島市中町 8-2 福島県自治会館 7F
TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741
URL <http://www.f-npo.jp/saposen/>
E-mail saposen@f-npo.jp

—福島市の指定管理制度で運営している施設—

●福島市市民活動サポートセンター

〒960-8041 福島市大町 4-15 チェンバおおまち3F
TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560
URL <http://www.f-ssc.jp>
E-mail f-ssc@bz01.plala.or.jp

—福島市より受託、運営している施設—

●まちの駅 ふくしま情報ステーション

〒960-8053 福島市三河南町 1-20
コラッセふくしま 1F
TEL 024-525-4020 FAX 024-525-4027
URL <http://www.machi-fukushima.jp>
E-mail info@machi-fukushima.jp

編集後記

今年の冬の到来はやや遅めですが、やっと寒くなり始めました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

助成金(ふくしま元気市民活動助成金・のっぽ基金助成金)の助成団体も決まり、担当理事としてホッとしてるところです。

今年度も残り4か月となり残りの事業を着実に進めると共に、中間支援NPOとして原点に立ち返り事業を見直すことの必要性を感じるこの頃です。
(ふくしまNPOネットワークセンター常務理事 菅野 真)

●編集・発行

認定特定非営利活動法人
ふくしま NPO ネットワークセンター
〒960-8068
福島市太田町 12-30 マルベリービル 6階
TEL 024-572-7930 FAX 024-572-7931
E-mail center@f-npo.jp URL <http://www.f-npo.jp/>



認定 NPO 法人 ふくしまNPOネットワークセンター通信 No.67

のっぽの手

◆◆◆◆ 注目記事 ◆◆◆◆

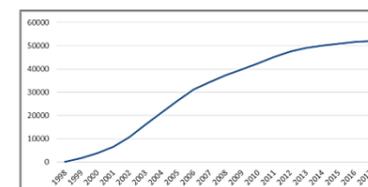
「NPO 法施行20周年によせて」
各ネットワークセンター
「事業報告」
2018年 11月発行

NPO 法施行20周年によせて

NPO法(特定非営利活動促進法)は、1998年3月19日に衆議院で成立し、3月25日公布、12月1日に施行されました。今年、NPO法施行20周年にあたります。NPO法制定の直接の契機となったのは、1995年に発生した阪神・淡路大震災でした。この震災では日本各地からボランティアがかけつけ、瓦礫の撤去、炊き出し、避難所運営、子どもや高齢者のケアなどに大活躍をしました。従来ともすれば「物好き」「うさんくさい」などと色眼鏡で見られがちだったボランティアやNPOへの社会的認知が一気に高まったのはこのときであり、1995年は日本の「ボランティア元年」と呼ばれるようになりました。こうした動きを背景として、日本では珍しい超党派の議員立法として、「市民活動促進法」が準備され、紆余曲折の後に「特定非営利活動促進法」という名称で成立したのがいわゆるNPO法です。

法施行後、NPO法人の設立はラッシュのように続き、10年後の2008年には4万弱を数えるにいたりました。その後増加率はやや鈍化しましたが、2018年

現在では5万を超え、市民社会の一翼を担う存在になってきました。ちなみにわがふくしまNPOネットワークセンターが設立されたのは2001年のことです。



NPO法人数の推移(全国)

法施行20周年を記念する行事は、各地で開催されており、東北地方でも、ふくしまNPOネットワークセンターも参加したNPO法20周年記念プロジェクト東北実行委員会主催のシンポジウムが開催されました(11月1日、仙台)。しかしお祭り騒ぎで浮かれているわけにはいきません。組織基盤の強化、人材の育成、職員の待遇改善と安定した雇用の実現など、つぎの20年へ向けて、課題は山積しています。ネットワークセンターも気を引き締めてつぎのステップを展望したいと思います。

(ふくしまNPOネットワークセンター
理事長 牧田 実)



ネットワークセンター事業報告:

まちの駅ふくしま情報ステーション

平成30年度まちの駅ネットワークふくしま事業の一つ“のぼり旗作成事業”は会員拡大を目的に作成している所で、現在校正が最終段階を迎えています。来年福島開催の「絆まつり」、2020年には「東京オリンピック・パラリンピック」を控えており、まちの駅の周知と会員拡大を図る絶好の機会と捉え急ぎ進めています。

ふくしま情報ステーションの利用者の推移は、7月3482人、8月3626人、9月3511人、10月4776人でした。年々利用者が月平均800人越えて増えており、10月では過去最高の利用者数となりました。中でも外国人利用者は7月から10月まで32人、昨

年同時期と比べ19人の増で、今後益々増えていく事は間違いなく、観光案内所でのインバウンド対応のサービスは必須と感じています。「第21回まちの駅全国大会 in 会津」の分科会「インバウンド～YOUは何しにまちの駅へ？」に参加し、外国人大歓迎の「まちの駅」を考える勉強をして来ます。また、福島県観光交流課より紹介された、東北観光推進機構「多言語電話通訳サービス」に無料登録しました。外国人観光客とのコミュニケーションをサポートできる様々なツールを積極的に活用して行きたいと考えています。

(ふくしま情報ステーション
所長 齋藤 美左子)

ネットワークセンター事業報告:

福島市市民活動サポートセンター

「利用者の視点から事業を考える」

福島市市民活動サポートセンターも開設して、今年度で13年目を迎えます。福島市の市民活動の「よりどころ」(拠点施設)を目指して、運営してきた「ふくサポ」ですが、昨年度は約4万人(延べ人数)の方にご利用頂き増々利用者の目線に立ったサービス、活動団体の視点を思慮に入れた支援・事業企画などが求められていると感じています。

【講座企画】

現在、市民活動をこれから始める方・始めたばかりの方向けの「市民活動ステップアップ講座」(3講座)、NPO活動を行なっている方向けの「NPOマネジメント講座」(4講座)、市民活動に興味を持っていたため「オープンセミナー(講演会)」(1講座)、市民活動や企業など地域の魅力を再発見する「まちづくりトークカフェ」(2講座)、職員が講師をつとめ、日々の業務サポートを行う目的の「スキルアップ講座」(2講座)、様々な組織との連携や実務のサポートをする「実践講座」(3~5講座)など年間約20程度の講座を実施しています。

今年度からチャレンジした講座としては、「子どもの頃から地域に関わり、福島に対する愛情を育ててほしい!」との目的で、企業2社(福島銀行様、福島キヤノン様)、市民活動団体1団体(劇団カスカ・ダール様)に御協力いただいて実施した「子どもサマープロジェクト」がごさいます。

企業を見学したり、演劇のワークショップを行ったり、子ども達が楽しく学べるプログラムをご用意しました。



子どもサマープロジェクトの様子

また、オープンセミナーでは福島市市民活動サポートセンターを飛び出し、福島をテーマに映画制作を行いました。

今年度の講座のアンケート、実施の状況、成果を振り返り、今後、皆さんが求める企画運営を実施していこうと考えています。



市民活動フェスティバルの様子

【ふくしま市民活動フェスティバルの工夫】

先日、10月21日(土)に「ふくしま市民活動フェスティバル2018」が開催されました。ふくサポは事務局として参加させていただきましたが、今年度は実行委員で「参加団体の皆さんが主体的にこのフェスティバルに関わっていただく」という目的を掲げ、参加することで参加者1人1人が作り上げるフェスティバルとなったと感じております。

ご協力を頂きました皆様、本当にありがとうございました。

(参加団体61団体、来場者2,700名)



震災から7年半が経過し、東京オリンピックまであと約1年半。環境の変化とともにニーズも変化する日々の中で「何が必要か」アンテナを高くし、情報をとらえ、提供していけるよう私共も努力してまいりたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(福島市市民活動サポートセンター

チーフ 内山 愛美)



ネットワークセンター事業報告:

ふくしま地域活動団体サポートセンター



ふくしま地域活動団体サポートセンターはNPOの皆様の基礎力向上、組織基盤の強化を目指し、様々な講座、セミナー等に取り組んでおります。今年度の講座やセミナーは、新たな切り口から気づき・学びを得ていただけるよう工夫し、従来の講師の方に加え、新しく講師として県内外の方々に加わっていただきました。

8月に開催いたしました「NPOのためのイベント企画・運営セミナー」では講師に特定非営利活動法人CRファクトリーの事業部長・理事の五井 潤利明氏を迎え、イベントを企画することから仲間の巻き込み、コミュニティづくりについて学びました。

13団体15名の参加者が、イベント運営のための7ステップを学び、ワークシートを使って実際に企画設計をしました。

9月にはふくサポとの連続講座として「助成金活用セミナー」&説明会を福島市市民活動サポートセンターにて行いました。3つの助成元と採択団体の方に登壇いただき、助成金を獲得するためのポイントを聞くことができました。参加者、登壇者を含め36名の参加となりました。

10月は Links あいづ、会津若松市との共催で「NPOチームづくり講座」を開催しました。成果を上げるために、資金力や組織のブランド力によってではない、目的や意味、価値を理解し、共感してもらうために必要な要件を組織コンサルタントで合資会社ベルノートの鈴木利和氏に19団体33名が学びました。

11月からは講座やイベントが目白押しです。22日(木)は今回で3回目となる「福島県NPOのつどい」を郡山市ミュージカルがくと館大ホールで13時より開催します。今回は全国的に多くのネットワークをもつ東京都のNPO法人チャリティーサンタの代表理事清輔夏輝氏に「心に響くストーリー!人(心)を動かす伝え方」を学びます。最後には多様な主体の方々に交流いただける時間もあります。

27日(火)は会津若松市会津稽古堂研修室2にて「NPO広報力強化講座」を、29日(木)は楢葉町でサポセンとして初の開催となる「NPO経営戦略の

作り方」を、ならば CANvas 多目的室1にて開催予定です。

12月、1月にも講座を開催いたします。詳細はふくしま地域活動団体サポートセンターウェブサイトをご覧ください。
(<https://f-saposen.jp/>)



【チャレンジインターンシップ事業】

7月下旬から9月中旬にかけて、47名の高校生、大学生、専門学生が県内の23NPO法人でインターン活動に取り組みました。農作業体験や復興イベントの運営サポート、子どもたちの学習支援など、様々な活動を行いました。10月28日には、郡山市のビッグパレットふくしまで活動報告会・閉講式を開催しました。「地元地域の発展に貢献していきたい」「本当にやりたい仕事をするのが大切だと気づいた」などの報告がなされ、活動が自分の生き方を見つめるきっかけとなったことが伝わってきました。活動の様子は、サポセンウェブサイトへ掲載中です。

(<https://f-intern.f-saposen.jp/>)

【NPO、企業との連携・協力事業】

NPOと企業等のマッチング事業は、参加NPO15団体に向け8月「NPOアプローチ講座」10月「NPOプレゼン講座」を経て、11月13・14・15日に「NPOと企業とのマッチング会」を会津若松・郡山・いわきで実施しました。参加企業も昨年より多い15社以上となり、NPOと企業とが協働に向けて活発に交流や意見交換をしました。今後3月まで、それぞれに協働の可能性について話を進めていきます。

(<https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>)

(ふくしま地域活動団体サポートセンター

チーフ 野地 理恵子)